

はやくも6年が経ちました



みなさんこんにちは。大分県宇佐市で開業している17期生の岩男祥宏と申します。

暖かくなり、過ごしやすい季節となつてまいりましたが、同窓生の皆さんにおかれましてはますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。

大分県は福岡県の隣ということもあり、県内には多くの同窓生がいらっしゃいますが、他校出身の先生方にうらやまされる程仲がよく、そして皆さんいろんな場面で頑張っている感じがします。そのおかげで私も何事があるたびに先輩方にご助言ご助力をいただいております。いつもお世話になっている同窓生の皆様にはこの場をかりて厚くお礼を申し上げます。

大分県宇佐市といえば、全国の八幡宮の総本宮である宇佐神宮があり、お正月になれば全国から参拝者が訪れ、普段は静かな町もこのときばかりは人があふれます。また、昭和の大横綱双葉山生誕の地ということもあり相撲が盛んで、毎年春には全国大学選抜相撲宇佐大会、秋には選抜高校相撲宇佐大会が行われます。

私とは申しますと、ここ宇佐市で開業して6年が経とうとしており、リピーターとして再度来院して下さる患者さんも徐々に増えてまいりました。そういった患者さんを裏切らない為にどう努力していくべきか試行錯誤を繰り返しているところです。その為、スタッフには苦勞をかけてしまいますが、今後も医院と自分の成長が続くよう努力をしていこうと思っております。

最後になりましたが、福岡歯科大学の今後のますますの発展をお祈り申し上げます。そして、同窓生の皆様方今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

いわお歯科(大分県宇佐市)
 岩男 祥宏(17期)

写真上=医院外観
 写真下=筆者(中央)とスタッフ



出会いに感謝



同窓生の皆様はじめまして。福岡県糸島市で開業しております25期生の竹田茂樹と申します。糸島市は今年1月1日より前原市、二丈町、志摩町の合併により新しく誕生した町です。母校のある福岡市に隣接し、都心からも地下鉄を使えば30分圏内と交通の便も大変よく、最近では近くに九州大学が移転してきたため、人口が増え、色々なお店が次々にできてきて大変賑わっています。又豊かな自然に囲まれ、おいしい食材、特に冬限定ではありますが、カキ小屋の焼ガキは身が大きく、味も濃厚で格別です。そして糸島の人々は、人情にあふれ、温かな人が多く、まだ開業して1年にも満たないのですが、大変魅力的なこの町に永住してみたいという気持ちさえあります。

早、福岡歯科大学を卒業して7年目に突入しますが、患者さんを満足させるだけの歯科医療ができていないことに、日々悩みなんとかしようと、講習会、研修会に参加したり、諸先輩の先生方に症例を相談したりと、診療においては悪戦苦闘しておりました。少しずつですが患者さんが、喜んでくれると本当に歯科医療に携われてよかったと、そして一生勉強は必要なんだと実感する毎日です。そして勉強をすることで様々な先生方との出会いがあるのが大きな醍醐味です。研修会などには本当にかなり勉強され、また研究され、色々な知識や考え方を持った多くの先生方がおられ、そういう先生方と接するのは自分にとって非常に多くの刺激を受けます。私の父も福岡市博多区で開業しているのですが、西洋医学とは少し違う歯科東洋医学を臨床に応用し、日々の患者さんの治療にあたっています。時々講習会に参加したり、話を聞くことがあるのですが、本当に難しくして大変興味深いことばかりです。

今後、糸島の地において、諸先生方と共に地域医療に少しでも貢献し、地域の人々から十分な評価を受けられるように努力してまいりたいと思っております。

たけだ歯科クリニック(福岡県糸島市)
 竹田 茂樹(25期)

写真上=医院外観
 写真下=筆者(前列右)とスタッフ

